



速報

解雇や労働時間を短縮された従業員に対する即時の COBRA保険料補助が4月1日に開始

2021年3月30日

ハイライト

グループヘルスプランに加入している従業員が、(重大な違反行為なく)解雇または非自発的な労働時間の短縮により保険に加入できなくなった場合、最大6ヶ月間のCOBRA保険料補助を受けることができます。

COBRA保険料補助の費用を支払った雇用主は、American Rescue Plan Actにより、その費用に対する税額控除を受けることができます。

早ければ2021年5月30日にも新しい通知が必要になる場合があります。

2021年4月1日より、自費負担または全額負担のグループヘルスプランを提供する雇用主は、従業員が(重大な違反行為なく)解雇または非自発的な労働時間短縮により保険に加入できなくなった場合で、かつCOBRAによる継続保障期間内の場合、最大6ヶ月間、グループヘルスプランのCOBRAによる継続保障の費用を全額負担する必要があります(COBRA保険料補助)。ただし、雇用主はCOBRA保険料補助の費用に応じた税額控除を受けることができます。この保険料補助および関連する税額控除は、2021年3月11日に発効されたAmerican Rescue Plan Actに基づくものです。

詳しくは[英語版](#)をご覧ください。

©2021 Barnes & Thornburg LLP. All Rights Reserved. 書面による許可なく複製することを禁止します。

本ニュースレターは、法律の最新情報、動向をご案内するものであり、いかなる場合も法務サービス、法務アドバイスの意味を持つものではありません。本ニュースレターは、一般的な案内目的でのみ配布されるものですので、個々の問題については弁護士までご相談下さい。